

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第27週	第26週	第27週		第26週		第27週		第26週		第27週		第26週		第27週		第26週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	49	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	43	63	6	1	8	5	6	1	7	3	0	0	0	2	0	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	128	3	0	9	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0
感染性胃腸炎	200	278	57	5	91	17	49	0	84	9	0	3	0	2	8	2	7	6
水痘	24	18	3	4	3	0	2	2	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0
手足口病	11	9	0	2	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1
伝染性紅斑	4	9	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	39	27	2	1	7	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	1	3	0
ヘルパンギーナ	51	10	0	1	3	2	0	0	3	0	0	1	0	2	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	7	13	1	0	2	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
RSウイルス感染症	68	51	3	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	22	24	3	4	1	6	3	3	1	2	/	1	/	4	/	0	/	0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈咽頭結膜熱の流行が続いています〉

アデノウイルスの感染により、38~39度台の発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を引き起こす、小児に多い病気です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので「プール熱」と呼ばれることもあります。プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいし衛生を保つようにしましょう。患者とのタオルの共用など綿密な接触は避けましょう。

〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています〉

A群レンサ球菌による上気道の感染症です。菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こします。感染経路は飛沫感染、接触感染です。

〈感染性胃腸炎の小流行が続いています〉

食品や飲料水をとおり経口的に細菌、ウイルスなどの病原体が腸に感染してさまざまな消化器症状を引き起こす病気です。

※飛沫感染：患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。

※接触感染：細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻繁に人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。

修飾麻しんって知ってますか？

○修飾麻しんとは・・・

- 麻しんに対する免疫は持っているけれども不十分な人が麻しんウイルスに感染した場合、軽症で非典型的な麻しんを発症することがあります。このような場合を「修飾麻しん」と呼んでいます。
- 麻しんの典型的な症状が出現しないため、風しんなど他の疾患と診断されることもあります。
 例) ・高熱が出ない、発熱期間が短い
 ・コプリック斑が出現しない
 ・発疹が手足だけで全身に出ない 等
- 症状は軽症ですが、周囲への感染源力はあるため、注意が必要です。

○どんなひとが修飾麻しんになるの？

以前は母体由来の移行抗体が残存している乳児や、ヒトガンマグロブリン製剤を投与された後に見られていました。最近では麻しんワクチン接種者がその後、麻しんウイルスに暴露せずに免疫増強効果が得られないまま体内で麻しん抗体が減衰し麻しんに罹患する場合があります。

1回の麻しんワクチン接種で免疫がつかなかった者は5%未満と少なく、ワクチン接種後に自然感染での免疫増強効果が受けられなかったことにより、免疫が減衰し、麻しんウイルスに暴露されたときに修飾麻しんとして発症する者は、10~20%程度と推定されています。



○麻しんワクチンはなぜ2回接種なの？

1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%存在すると考えられています)に免疫を与えます。また、免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともに、その免疫が減衰した子どもたちに再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。麻しんワクチンを2回接種することで、予防接種による免疫獲得をより確実なものにします。

